

授業概要

文化とはさまざまな要因により形成される。そして、人の移動というのも、その要因のひとつであろう。そこで、本授業では、世界最大の移民受け入れ国であるアメリカに焦点をあて、移民により形成されたさまざまな文化について講義する。具体的には、アメリカ建国当初から第二次世界大戦前までの移民に焦点をあて、それらの移民により形成された文化とその社会的背景について学習する。全 15 回の授業のうち、前半ではアメリカ本土、そして、後半ではハワイに焦点をあてる。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション：本講義の概要と目的
第 2 回	アメリカ建国から戦前までの歴史と移民の流れ
第 3 回	アメリカ本土における事例①：WASP 文化の形成
第 4 回	アメリカ本土における事例②：大衆文化の形成 1
第 5 回	アメリカ本土における事例③：大衆文化の形成 2
第 6 回	アメリカ本土における事例④：食文化の形成
第 7 回	アメリカ本土における事例⑤：政治文化の形成
第 8 回	アメリカ本土における事例⑥：労働文化の形成
第 9 回	アメリカ本土における事例⑦：資本主義の文化の形成
第 10 回	ハワイ王国成立から戦前までの歴史と移民の流れ
第 11 回	ハワイにおける事例①：食文化の形成
第 12 回	ハワイにおける事例②：服飾文化の形成
第 13 回	ハワイにおける事例③：大衆文化の形成
第 14 回	ハワイにおける事例④：言語文化の形成
第 15 回	総括
第 16 回	筆記試験（記述式）

到達目標

- ①アメリカ本土ならびにハワイへの移民の流れとその社会的背景について説明することができる。
- ②移民により形成された文化について、その形成の背景と結び付けて説明することができる。
- ③本授業にて取り扱う事例を通じて、さまざまな移民集団の特徴について説明することができる。

履修上の注意

本授業は、高等学校の「世界史」を受講者が履修していることを前提に行う。よって、高等学校で「世界史」を履修していない者は、事前に「世界史」の教科書のアメリカ史に関連する部分に一度目を通しておくことが望ましい。

予習・復習

事前に授業の関連資料を配付するので、予習しておくこと。また、授業で学習したことを整理し、自分の言葉でまとめること。

評価方法

試験 50%、小レポート 30%、受講態度 20%

テキスト

特定の教科書は用いないが、適宜資料を配布する。